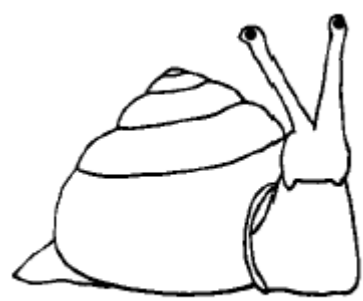


マイマイをぬって希少種カードをもらおう！！

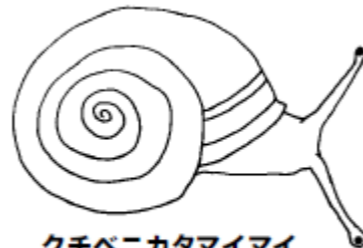
持ってきてくれたぬりえは、世界遺産センターで掲載させていただきます。



キノボリカタマイマイ



アナカタマイマイ



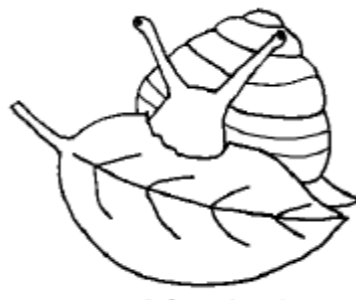
クチベニカタマイマイ



チヂマカタマイマイ



コハクアナカタマイマイ



カタマイマイ

© Ai Hashimoto

なまえを書いて7月ごろまでに
世界遺産センターに持ってきてね！

なまえ

事務局からみなさまへお知らせ

管理計画、アクションプランを改定しました

外来種の侵入拡散などこの5年間で生じた大きな変化や土付き苗等の課題に対応するため、平成29年3月、管理計画とアクションプランを改定しました。

新たな戦略のもと、自然環境の健全化に向けた取組を展開していきます。

新しい管理計画、アクションプランは、以下の「お問い合わせ先」各機関で閲覧できるほか、小笠原自然情報センターHPの諸計画ページ (<http://ogasawara-info.jp/isan/kanrikeikaku.html>)でもご覧いただけます。

◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所

Tel/Fax: 04998-2-7174/7175

E-Mail: RO-OGASAWARA@env.go.jp

東京都小笠原支庁

Tel/Fax: 04998-2-2167/2302

小笠原村環境課

Tel/Fax: 04998-2-3111/3222

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター

Tel/Fax: 04998-2-3403/2650

詳しい情報は下記のホームページをご覧ください。
小笠原自然情報センターHP: <http://ogasawara-info.jp/>



小笠原自然情報センターだより 第20号 2018年6月発行

小笠原諸島世界自然遺産地域連絡会議 事務局

世界自然遺産の保全に係る各種対策・取り組み

聳島列島におけるネズミ駆除手法・実施時期の変更について

小笠原自然情報センターだより第19号(2018年3月)にてお知らせしておりました聳島列島におけるネズミ駆除の手法が変更になりました。当初計画ではヘリコプターをメインとして補助的に人力、ベイトステーション(餌箱)、ドローンを使用し殺鼠剤散布を行う予定でした。今回の変更では実施時期を7月以降とし、これに伴い海鳥の繁殖への影響を回避するため、殺鼠剤の散布は人力とベイトステーションによる実施といたします。

変更点	当初計画	変更後計画
主な殺鼠剤散布方法	ヘリコプターによる空散	人力による手撒き
実施時期	4~5月	嫁島7~8月(予定) 媒島8~9月、2~3月



既にネズミの駆除が完了した聳島では在来植生を中心とした生態系が回復しつつあります。今回の事業により媒島・嫁島においても同様に生態系の修復を進めていきます。

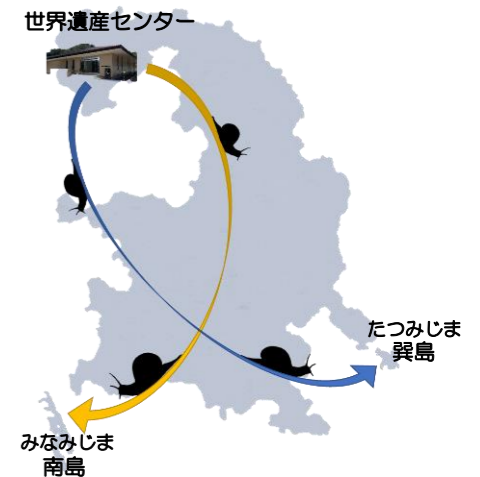
また、殺鼠剤の使用に当たっては土壌への残留性が少ないものを使用し、船を待機させ海上流出を防止するなど小笠原の美しい自然環境への負荷軽減を配慮して行います。引き続き聳島列島におけるネズミ対策事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

陸産貝類保全WGの今年度の検討事項

今年度の固有マイマイ(カタツムリ)に関係する会議(陸産貝類保全ワーキング、母島検討会など)では、主に次の2つを検討していく予定です。

① マイマイ引越し大作戦！！

- ◆ 父島では、外来生物のニューギニアヤリガタリクウズムシにより、固有のマイマイ(カタツムリ)に絶滅の危険が迫っています。そのため、小笠原世界遺産センター保護増殖室では、これらのマイマイを飼育し、野生にかえすための取組を進めています。
- ◆ 自然界で固有のマイマイが絶滅することなく、将来的にも安心して暮らせるよう、野生にかえすための条件やクリアしなければならない課題等を整理し、実現可能な移殖計画(『引越計画』のようなもの)を作成します。
- ◆ 計画の作成に当たっては、地域の皆さん(特に観光事業者の皆さん)のご意見を伺う機会も設ける予定です。ご協力をよろしくお願いいたします！



② 侵入ストップ！新たな外来種！！

- ◆ 母島にはニューギニアヤリガタリクウズムシが侵入しておらず、固有のマイマイが数多く生息しています。しかし、物流が発達している現在、いつ侵入してもおかしくありません。侵入してしまった場合、父島と同じ道を辿ることになってしまいます。
- ◆ そのため、もしもの時に備え、あらかじめ想定される事態を整理し、侵入防止のための取組、侵入してしまった後の取組をまとめ、今からできることを準備していきます。
- ◆ 環境省では今年度、地域の皆さんと協働で、新たな外来種が紛れ込む可能性が高い土付き苗について、薬液試験を行う予定です。こちらもご協力をよろしくお願いいたします！



普及啓発プロジェクト・イベント

父島、母島では、事務局が実施する対策・取り組みのほか、村民のみなさんや一般のみなさんにも遺産価値の保全に参加いただいたり、最新の取り組みや他地域の取り組みを学んでいただいたりする、各種プロジェクト・イベントを実施、開催しています。ここでは、4月～5月に開催したプロジェクト・イベントのほか、今年度のスケジュール等をお知らせします。

平成 30 年 6 月時点

今年度のスケジュール（予定）

4月	<ul style="list-style-type: none"> 千尋岩指定ルート外来種駆除ボランティア（21日） みどりフェスタ出展（29日）
5月	<ul style="list-style-type: none"> オガグワの森プロジェクト（6日） ハハジマ森の道プロジェクト（12日） 兄島視察会（19日）
6月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 小笠原国立公園こどもパークレンジャーin 母島（環境省）
8月	
9月	<ul style="list-style-type: none"> 世界自然遺産学術報告会（環境省） 森づくり準備イベント（父島・母島）（小笠原村）
10月	<ul style="list-style-type: none"> 西島外来植物駆除ボランティア（小笠原村） 兄島視察会（環境省）
11月	<ul style="list-style-type: none"> 南島外来植物駆除ボランティア（東京都） 外来種駆除ボランティア（林野庁等） 森づくり植栽イベント（父島・母島）（小笠原村）
12月	<ul style="list-style-type: none"> 外来種駆除ボランティア（林野庁等）
1月	<ul style="list-style-type: none"> 森づくり維持管理イベント（父島・母島）（小笠原村）
2月	<ul style="list-style-type: none"> 兄島視察会（小笠原村）
3月	

※（ ）は問合せ先です。

※今後、変更・追加の可能性がありますこと、ご了承ください。

小笠原諸島返還 50 周年記念学術報告会

『世界の宝・日本の財産・地域の誇り』 ～あなたの近くの世界遺産 小笠原～

- ◆ 今年3月、小笠原諸島世界自然遺産の管理計画を改定し、新たなアクションプランの下、様々な取組が進められています。
- ◆ 一方で、島内で行われている様々な取組や研究の成果が、地域に見えづらく、還元されていないという課題もあります。
- ◆ そこで、小笠原諸島世界自然遺産の管理機関では、取組や学術研究のまとめ的な報告会を行います。

<父島会場>（予定）

○日時：平成 30 年 9 月 9 日（日）13:00～17:00
平成 30 年 9 月 11 日（火）18:00～21:00

○内容：科学委員会の先生などが島民向けに報告をさせていただきます。子ども向け講座、一般向けの2回開催です。

<母島会場>（予定）

○日時：平成 30 年 9 月 4 日（火）19:00～21:00

○内容：科学委員会の先生などが島民向けに報告をさせていただきます。

※具体的な日時・内容は、村民だよりなどでお知らせします。

千尋岩指定ルート外来種駆除ボランティア

- ◆ 小笠原諸島においては、島外から侵入した外来種が元々島内に生育している在来種を脅かしているため、小笠原諸島森林生態系保全センターでは抜取り等により外来種駆除を行っています。
- ◆ 一方、指定ルート沿いにも外来種は侵入し、通行の際に外来種を広げる要因となっています。
- ◆ このため、観光利用の多い千尋岩への指定ルートにおいて、観光シーズンに入る前に外来種駆除を行い、外来種の拡散を防止することを目的に、小笠原諸島森林生態系保全センター、小笠原村共催でボランティアを募集し、4月21日に外来種駆除を行いました。



作業終了後に記念撮影

当日は、指定ルート沿いのセンダングサやシュロガヤツリなどの駆除を行いました。

天気がよく暑い中での作業となりましたが、暑さに負けることなく作業を進めた結果、わらび谷までの指定ルート沿いの外来種を駆除することができました。

千尋岩への指定ルートをご通行の際はその成果を確認してみてください！

みどりフェスタ出展

- ◆ 小笠原返還 50 周年ということで、4月29日に新宿御苑で開催されたみどりフェスタに小笠原のブースを初出展しました。

Let's BONIN アイランド！小笠原の生き物を探そう！
マイマイ探しにアノール獲り！今日から君もおがレンジャー！！

【企画内容】

- ◆ 内地の方にはなじみの薄い小笠原の美しい自然やユニークな生き物についてご紹介。
- ◆ 子どもから大人まで楽しめるよう、クイズや生き物探しなどのゲームを実施。
- ◆ 小笠原返還 50 周年記念の PR。



イベントの様子

村民参加の森づくり ～春の地ならし体験～



小笠原諸島返還50周年

- ◆ 父島と母島の村有地では、自然をより身近に感じ、親んでもらうため、「オガグワの森プロジェクト」と「ハハジマ森の道プロジェクト」を進めています。
- ◆ 今秋のオガサワラグワや在来樹の植栽に向けて、予定地の環境づくりと皆さんの雰囲気づくりを図った「春の地ならし体験」を行いました。

オガグワの森（平成 30 年 5 月 6 日） 参加者：31 名

【内容】

- ・アレカヤシの手入れ（株立ちした幹の間引き）
- ・沢沿いのタケの片付け、アカギ・キバンジロウの引き抜き・伐採



オガグワの説明風景

アカギ伐採中

ハハジマの森の道（平成 30 年 5 月 12 日） 参加者：12 名

【内容】

- ・薬剤により枯らしておいたギンネムとシマグワの伐採・搬出
- ・植栽予定地の整地



ギンネム伐採中

片付け後の様子

どちらの森づくりも、まだまだ始まったばかりです。
この写真の子が大人になる頃、10年後、20年後、50年後、
どのような姿の森になっているか、どうしていくか。
皆さんと一緒に考えながら進めていきます。

兄島視察会

- ◆ 父島から数百m離れた無人島の兄島には、父島では見られなくなってしまった固有の陸産貝類やトンボなどの昆虫類があり、最大規模の乾性低木林が広がっています。
- ◆ 5月19日に開催した兄島視察会では、村民20名に参加いただき、それらの自然を守るために行っている様々な取組を紹介し、その現場を実際に見てもらいました。同時に陸産貝類や水生生物の観察も行いました。

【参加者の感想 一部抜粋】

- ・様々な対策のことができて勉強になった
- ・美しい自然を守るために大変な手間とお金がかかっていると実感した。
- ・陸産貝類やトンボ、カメムシなどを見ることができて感激した。
- ・父島には無いものがあり、守っていく必要性を改めて感じた。
- ・歩くだけだと思っていたら、生き物探索やクイズがあって楽しかった。



水生生物の観察の様子



取組紹介の様子